

一日雪の中で過ごして、あるいは温泉に浸かった後で、どうしてもビールが飲みたくなったら、共同浴場大湯の真正面にあるこのクラフトビールのブルーパブ(ブルワリー直営パブ)に行かない手はありません。イングランド人と日本人のカップルが経営するマイクロブルワリー、里武士のタップルームには、ホップが欲しくてたまらない人が20人ほど入れます。小さな立ち飲みバーといった風情の里武士はほかの旅行者や地元の人たちに混じって飲むのにぴったりの場所です。ブルワリーは地元の天然の湧き水と、地元産あるいは輸入された上質のオーガニックの原材料を使って独自のタイプのビールを作っています。里武士はいろいろな系統のイースト菌やバクテリアを試しつつ、基本を守りながらも新しいビールを考案しているブルワリーとして人気があります。

多彩なメニューの中から4つのお好みのタイプのビールが選べるテイスティングセットを頼んでみるのが一番です。ビールに合うおつまみもありますし、グループの中の未成年の方は地元産の果物を使ったハウスサンアントンの自家製ジュースを楽しめます。